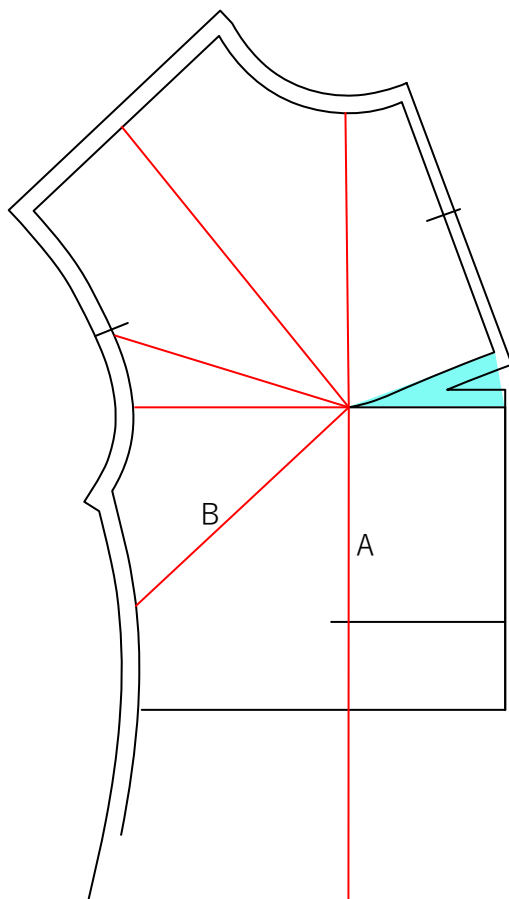
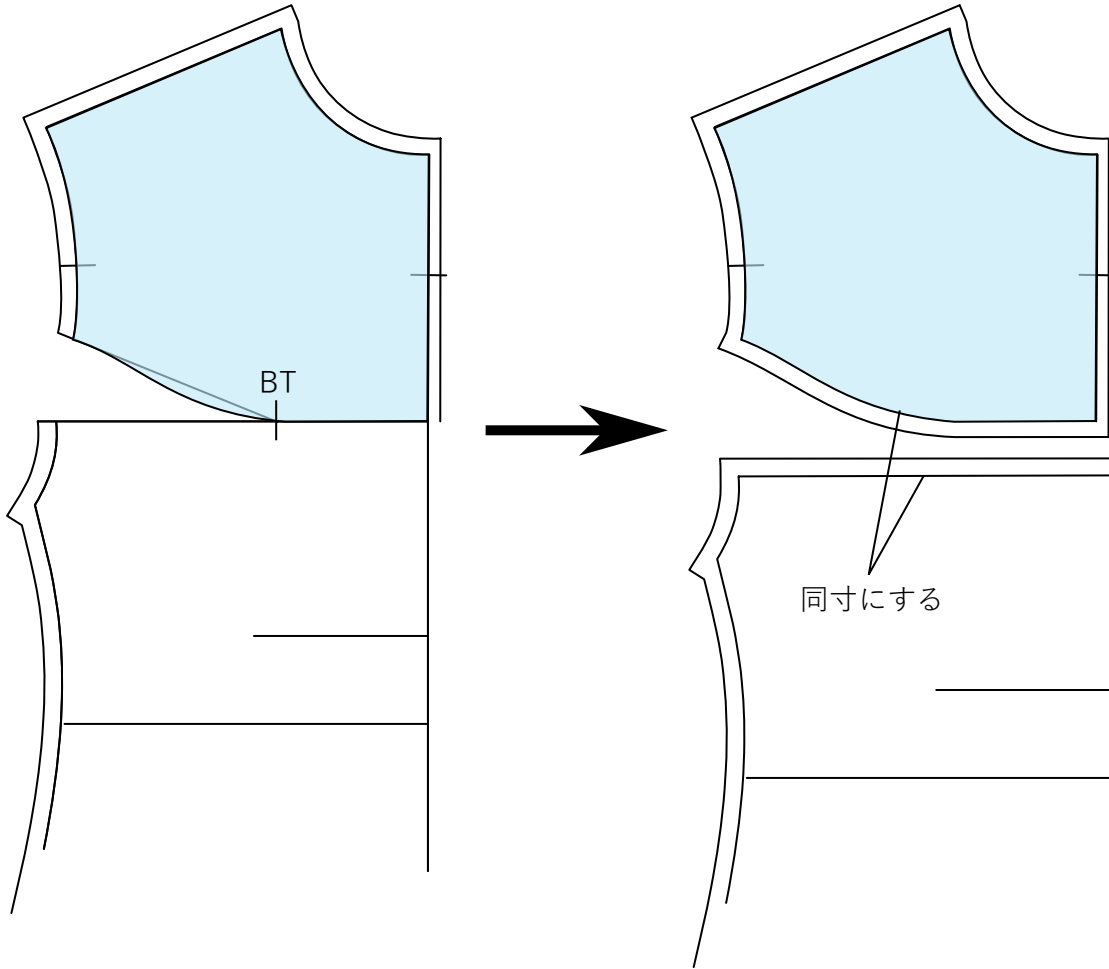


ニットワンピース バストダーツアレンジのヒント



上図はバストダーツを袖ぐりに展開させてから前身頃のパターンを完全分離させた例です。

左図はバストダーツの展開例です。肩や衿ぐり、脇線など、基本的にはどこに展開しても構いません。いずれも切り替え線又はダーツとして処理しますが、裾に向かって展開している線 (A) だけはダーツではなくフレアになります。

このようにバストダーツは理論上ではその位置をある程度自由に設定する事が出来ますが、デザインによって向き不向きがあります。

ニットワンピースのパターンを例にとると、バストダーツを裾に向かって展開 (A) すると、前身頃だけがかなり大きなフレアシルエットになってしまいます。これだと前後身頃のバランスを取るために後身頃にもフレアを入れる必要があります。

また、バストダーツを脇線に展開 (B) する場合は縫合位置の生地が伸びやすくなるので生地を選びます。ニット生地の場合は特に顕著に現れるのであまり現実的ではありません。

胸ぐせをダーツとして処理する場合には、ダーツの先端はBT位置ではなくBT位置よりも2~3cmほど手前で自然に消失するようにダーツを入れます。切り替え線として処理する場合にもBT位置をぼやかすように自然なライン取りを心がけて下さい。バストトップ位置がはっきりと主張するのはあまり美しくありません。